

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 石川工業高等専門学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 (高等専門学校)

住所 〒929-0392

石川県河北郡津幡町北中条タ1番地

E-mail: _____

Website: http://www.ishikawa-nct.ac.jp/

児童生徒数：男子 807名 女子 240名 合計 1,047名

児童・生徒の年齢 15歳～22歳

3. 実施活動 (下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。)

地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解) 世界遺産 平和・人権 (環境) 気候変動
(生物多様性) (エネルギー) 防災 食育 (伝統文化) そのほか ()
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

環境，国際理解，伝統文化，出前授業，オンリーワンプロジェクトにわけて記載してありますので，別添資料を参照下さい。

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ記載をお願いします。

実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

研究のシーズ発掘のように、地域社会から求められるものを題材に選ぶ必要がある。学生にとって勉学のモチベーションは、今学ぶものが社会にどう活かされているかを知ることによって向上されると考えている。また、地域に貢献できる喜びも、技術者としての素養になるのではと捉えている。

加えて、知識の定着には出力が欠かせないものとし、出前授業を学生に課している。アンケート結果からも、教えることの難しさを感じているようで、勉強不足を実感し、勉学に励む様子もうかがえる。

実施テーマに関連した研究旅行の実施。

他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載をお願いします。特に相手校がASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）

国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の10年など）